

株式会社 **テ-オー-シー**

# 第42期 期末報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

## C O N T E N T S

- 01 株主の皆様へ  
当期の状況
- 03 事業部門別の状況
- 05 対処すべき課題
- 06 トピックス
- 07 連結財務諸表  
連結貸借対照表
- 08 連結損益計算書  
連結キャッシュ・フロー計算書  
連結株主資本等変動計算書
- 09 単体財務諸表  
貸借対照表・損益計算書  
株主資本等変動計算書
- 10 会社概要
- 11 株式関連情報
- 12 株主優待のご案内
- 13 株主メモ
- 14 株券の電子化についてのお知らせ



# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は平成20年3月31日をもって第42期事業年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当期の期末報告書をお届けいたします。

平成20年6月

代表取締役社長 **大谷 卓男**



## 当期の状況

### ■ 全般的な概況

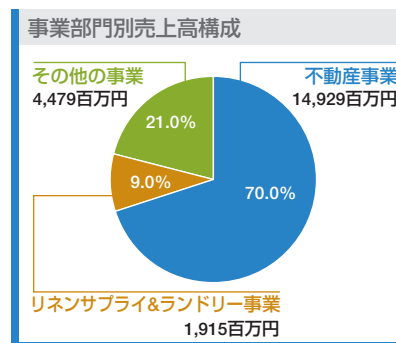
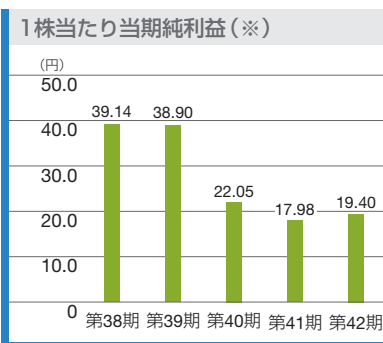
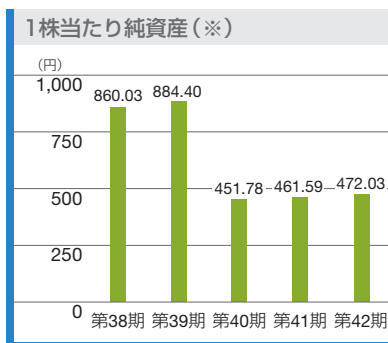
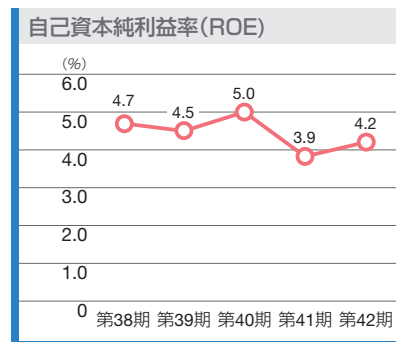
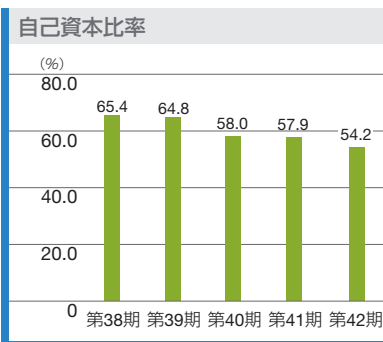
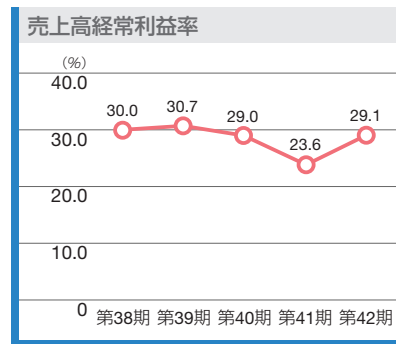
当期の連結業績につきましては、「TOC有明」が通期稼働の下、満室状況に至り、前期と比較して連結売上高は、16.0%増の21,324百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は、44.7%増の6,758百万円、経常利益は、42.8%増の6,202百万円、当期純利益は、7.8%増の2,639百万円となりました。

次期の連結業績につきましては、売上高は、前期比0.6%減の21,200百万円、利益面におきましては、営業利益は、1.6%減の6,650百万円、経常利益は、1.7%減の6,100百万円、当期純利益は、32.6%増の3,500百万円を予想しております。

### ■ 次期（第43期）業績の見通し

#### 連 結

売上高	21,200百万円（前期比 0.6%減）
営業利益	6,650百万円（前期比 1.6%減）
経常利益	6,100百万円（前期比 1.7%減）
当期純利益	3,500百万円（前期比32.6%増）



※平成17年7月11日付(第40期)で、株式1株につき2.05株の株式分割を行っております。

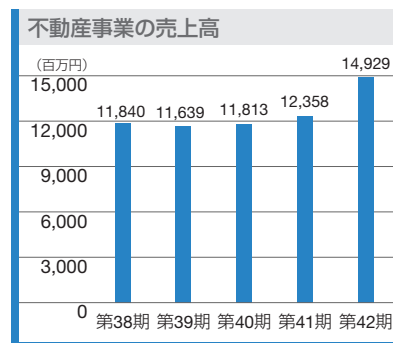
# 事業部門別の状況

## 不動産事業

建物の賃貸等では、「TOC有明」が通期稼働の下、満室状況に至り、また、支出面におきましても大きなリニューアル工事費等がなく、大幅な増収増益となりました。なお、期末時点における入居率は96.9%（前期末92.0%）であります。

展示場・会議室の賃貸では、新規顧客の獲得、「TOC有明」コンベンションホールの通期稼働により大幅な増収増益となりました。駐車場の賃貸におきましても、同様の要因により増収増益となりました。

以上の結果、不動産事業の売上高は14,929百万円(前期比20.8%増)となり、営業利益は6,537百万円(前期比46.6%増)となりました。



## TOCビル

活気あるビジネスの場を提供し続けているTOCビルは、ファッション、インテリア、生活雑貨などの多様な“商品と情報”が集まる多機能施設として、商業活動をサポートしております。



## 大崎ニューシティ

JR大崎駅に直結する大崎ニューシティは、当社所有のホテル棟、オフィス棟を核として、利便性の高い街として高い評価をいただいております。また、「りんかい線」全面開通、新幹線品川駅開業などにより、都内の重要拠点として、さらにその価値が高まっております。



## 浅草ROX

東京浅草の活性化をテーマにオープンいたしました浅草ROXは、ROX-2G、ROX-3、ROXDOMEと、拡大増床を続け、地域の皆様を中心に多くの方々に親しまれております。

ビルと接続するつくばエクスプレス「浅草駅」の開業により、より集客力の高い商業施設となってまいりました。



## TOC有明

臨海副都心有明の新たなランドマーク・TOC有明は、様々なビジネスシーンにフレキシブルに対応するため、業務棟・駐車場棟・倉庫棟が効率的に配置された多機能業務施設となっております。

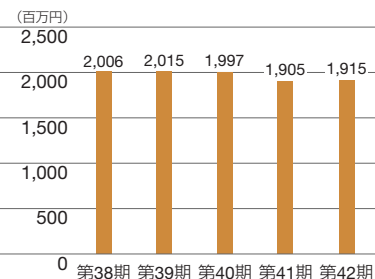


## リネンサプライ&ランドリー事業

リネンサプライ及びランドリー事業の売上高は1,915百万円（前期比0.5%増）と若干の増収でしたが、営業利益では燃料費の高騰もあり33百万円（前期比14.9%減）となりました。



リネンサプライ&ランドリー事業の売上高



## その他の事業

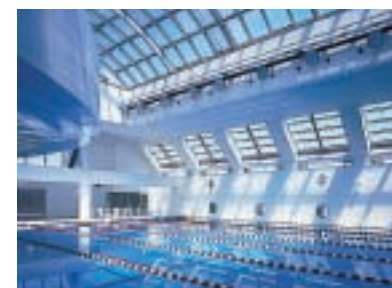
製菓事業は、OEM製品の売上減により減収減益となりました。スポーツクラブ事業は、競合施設の影響により減収となり、併せて施設のリニューアルを行ったことから減益となりました。温浴施設事業は増収となり利益面の改善が図られました。商品販売事業並びに飲食事業におきましては、不採算店舗の見直しにより減収となりましたが、利益面の改善が図られました。ビル管理関連サービス事業は、「TOC有明」関連の請負工事が増加し、増収増益となりました。環境保全・省エネルギー事

業及び情報処理関連事業は、減収減益となりました。

以上、その他の事業の合計での売上高は4,479百万円(前期比8.9%増)、営業利益は176百万円(前期比38.6%減)となりました。

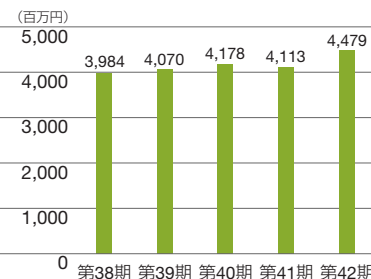


TOLの運営する“浅草ROXまつり湯”(露天風呂)



フィットネスクラブ  
“ROX FITNESS CLUB begin”

その他の事業の売上高





# 対処すべき課題

## 経営の基本方針

当社グループは、「社会に役立つ企業」という企業理念に基づき、お客様に「明るく、活力のある、和やかな」場を提供することにより、社会との調和の上、お客様・皆様に喜んでいただき、お役に立つことを使命として事業を推進いたしております。全社を挙げて日々向上に努めることから、事業の発展を成し、明るい未来を創造することにより、社会に貢献していく所存でございます。

また、この方針に則り、企業の社会的責任や環境問題への対応にも真摯に取り組み、企業としての調和を図りながら、グループ全体として事業の拡大と価値の創造に邁進してまいります。

わが国経済の見通しは、輸出企業に対する為替の影響、世界的な資源価格の高騰、米国の景気情勢など多くの懸念要因があり、経営環境は予断を許さない状況で推移するものと思われまます。

オフィスビル業界におきましては、立地による格差はあるものの、堅調なオフィス需要を背景に良質なビルに対しましては、入居率・賃料水準とも引き続き安定的に推移するものと思われまます。

商業ビル業界におきましては、個人消費の盛り上がりは期待出来ず、また、業種業態を超えた競争の激化もあり、厳しい市場の中での施設運営には一層のノウハウが必要になるものと思われまます。

このような状況の下、当社グループは、中長期的に安定的かつ持続的な成長を果たすため、当社グループの新たな成長基盤となる新規プロジェクトの推進と、既存事業を磐石なものとするための総合的な施策を合わせて実行してまいります。

中核事業である不動産事業におきましては、推進中の開発プロジェクトを着実に推進することにより、事業規模の拡大を図るとともに、既存所有ビルの付加価値の向上に努め、中長期的にも市場において強力となし得る「TOC」ブランドの構築に努めてまいります。

2007年9月に着工しました、みなとみらい21-28街区プロジェクトは、みなとみらいの玄関口にあたる絶好の立地、約1万1千㎡の敷地に、地上19階地下1階建て、延床面積10万6千㎡余の大型複合施設として、低層部にはショッピングゾーンを中心にシネマコンプレックスとフィットネスクラブ、高層部にはオフィスとホテルを設け、横浜開港150周年にあたる2009年9月の竣工を予定いたしております。

既存所有ビルにつきましては、事業環境の変化に対応すべく、ビルの付加価値を高めるリニューアルの継続的实施と、利用者に対する運営面の一層の向上に努めてまいります。

また、インターネット上におきましても「TOC」ブランドを活用し、卸売業向けの企業間取引をサポートするECサイトを新たに展開してまいります。

当社グループにおきましては、より強力に事業の推進を図るため、グループ各社、各事業間の連携を強化し、よりシナジー効果を高められる組織の構築を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## TOC Buyer's NET

## サプライヤーとバイヤーを信頼で結ぶECサイト 「TOC Buyer's NET (TOCバイヤーズネット)」、まもなくオープン。

サプライヤーとバイヤーを結ぶBtoB（企業間取引）専用サイト「TOC Buyer's NET (TOCバイヤーズネット)」を、本年7月にオープンする予定です。

「TOC Buyer's NET」は、TOCビルの大きな強みであるサプライヤーの集積機能をインターネット上で展開するものです。

ビルという箱の中での集積から、インターネット上のモール空間に導くことにより、サプライヤーとバイヤーからなる参加者は、数量・時間・場所に対し無限の拡がりを得ることができ、参加者＝会員のビジネスの拡大を可能とするものです。

婦人・紳士アパレル、国内外雑貨、ヘルス・ビューティー、宝飾アクセサリ等を取り扱う会員制の電子商取引サイトとして、TOCビルの長年の顧客である卸売店はもとより、他市場からも数多くのサプライヤー、バイヤーの参加を見込んでおります。

このサイトの企画・運営に関しましては、当社連結子会社の株式会社TOC-indexが行っており、本年7月のオープンに向け、着々と準備を進めております。

新時代に向けての卸売・仕入の専用サイト「TOC Buyer's NET」にご期待ください。

## TOC Buyer's NETの仕組み



## 新規プロジェクト

## 多彩な都市生活機能を集約。横浜・みなとみらいに ライフスタイルを提案する大型複合施設を建設。

2007年9月に着工しました、みなとみらい21-28街区プロジェクト（神奈川県横浜市）につきましては、建設工事が順調に進捗しており、来年、秋に竣工する予定です。

JR桜木町駅前という優れた立地を活かし、商業ゾーンを中心に、シネマコンプレックス、ホテル、フィットネスクラブ、オフィスなど、ショッピング・ビジネスからライフカルチャーに至るまで、多彩な都市生活機能をトータルプロデュースし、新世代に対してこれからのライフスタイルを提案できる大型複合施設を目標に建設を進めております。

このプロジェクトは、これまで当社グループが培ってきた「明るく、活力のある、和やかな」空間の提供を基本に、人・モノ・情報が集まる、活気あふれる施設づくりにより、ご利用される皆様のお役に立ち、地域経済の更なる発展に貢献させていただきたく推進してまいります。



※イメージバースです。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成20年3月31日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>I 流動資産</b>	<b>11,211</b>	<b>8,406</b>
現金及び預金	6,577	5,311
受取手形及び営業未収入金	1,088	1,119
たな卸資産	385	366
繰延税金資産	201	143
一年以内に回収予定の長期営業貸付金	2,750	—
その他	224	1,484
貸倒引当金	△16	△18
<b>II 固定資産</b>	<b>107,131</b>	<b>100,134</b>
<b>1.有形固定資産</b>	<b>80,383</b>	<b>79,500</b>
建物及び構築物	36,500	37,782
土地	41,115	41,090
建設仮勘定	2,355	150
その他	411	476
<b>2.無形固定資産</b>	<b>7,261</b>	<b>7,072</b>
借地権	6,966	6,966
その他	294	106
<b>3.投資その他の資産</b>	<b>19,487</b>	<b>13,561</b>
投資有価証券	13,242	5,313
長期営業貸付金	1,500	2,750
長期保険資産	612	1,603
繰延税金資産	3,694	3,527
その他	437	394
貸倒引当金	—	△27
<b>資産合計</b>	<b>118,343</b>	<b>108,541</b>

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成20年3月31日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>I 流動負債</b>	<b>24,720</b>	<b>15,625</b>
買掛金等	1,303	2,604
短期借入金	18,005	8,945
一年以内に返済予定の長期借入金	1,928	1,428
未払法人税等	1,153	841
賞与引当金	87	89
その他	2,243	1,716
<b>II 固定負債</b>	<b>28,957</b>	<b>29,707</b>
長期借入金	18,089	19,517
預り保証金	10,353	9,706
退職給付引当金	165	169
役員退職慰労引当金	219	199
その他	130	114
<b>負債合計</b>	<b>53,678</b>	<b>45,332</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>I 株主資本</b>	<b>64,545</b>	<b>62,976</b>
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,083	10,082
利益剰余金	43,086	41,331
自己株式	△393	△206
<b>II 評価・換算差額等</b>	<b>△354</b>	<b>△120</b>
その他有価証券評価差額金	△354	△120
<b>III 少数株主持分</b>	<b>474</b>	<b>352</b>
<b>純資産合計</b>	<b>64,664</b>	<b>63,208</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>118,343</b>	<b>108,541</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>21,324</b>	<b>18,377</b>
売上原価	12,203	11,456
<b>売上総利益</b>	<b>9,121</b>	<b>6,920</b>
販売費及び一般管理費	2,362	2,250
<b>営業利益</b>	<b>6,758</b>	<b>4,670</b>
営業外収益	165	160
営業外費用	721	488
<b>経常利益</b>	<b>6,202</b>	<b>4,342</b>
特別利益	11	—
特別損失	1,656	107
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,557</b>	<b>4,234</b>
法人税、住民税及び事業税	1,966	1,717
法人税等調整額	△49	47
少数株主利益	2	21
<b>当期純利益</b>	<b>2,639</b>	<b>2,448</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,553</b>	<b>5,434</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△12,672</b>	<b>△6,254</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,185</b>	<b>△2,617</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>1,066</b>	<b>△3,436</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>5,254</b>	<b>8,690</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,320</b>	<b>5,254</b>

## 連結株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>11,768</b>	<b>10,082</b>	<b>41,331</b>	<b>△206</b>	<b>62,976</b>	<b>△120</b>	<b>352</b>	<b>63,208</b>
<b>連結会計年度中の変動額</b>								
剰余金の配当			△884		△884			△884
当期純利益			2,639		2,639			2,639
自己株式の取得				△186	△186			△186
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△233	122	△111
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>1,754</b>	<b>△186</b>	<b>1,568</b>	<b>△233</b>	<b>122</b>	<b>1,456</b>
<b>平成20年3月31日残高</b>	<b>11,768</b>	<b>10,083</b>	<b>43,086</b>	<b>△393</b>	<b>64,545</b>	<b>△354</b>	<b>474</b>	<b>64,664</b>



# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末	前期末
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,252	5,574
固定資産	107,843	101,166
有形固定資産	79,568	78,668
無形固定資産	7,246	7,132
投資その他の資産	21,028	15,365
<b>資産合計</b>	<b>116,095</b>	<b>106,740</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	23,857	14,745
固定負債	28,999	29,823
<b>負債合計</b>	<b>52,856</b>	<b>44,568</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	63,622	62,293
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,083	10,082
利益剰余金	42,164	40,648
自己株式	△393	△206
評価・換算差額等	△384	△120
その他有価証券評価差額金	△384	△120
<b>純資産合計</b>	<b>63,238</b>	<b>62,172</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>116,095</b>	<b>106,740</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>16,826</b>	<b>14,192</b>
売上原価	8,580	8,201
<b>売上総利益</b>	<b>8,246</b>	<b>5,991</b>
販売費及び一般管理費	1,700	1,481
<b>営業利益</b>	<b>6,545</b>	<b>4,509</b>
営業外収益	159	115
営業外費用	738	475
<b>経常利益</b>	<b>5,965</b>	<b>4,150</b>
特別利益	186	—
特別損失	1,839	285
<b>税引前当期純利益</b>	<b>4,312</b>	<b>3,865</b>
法人税、住民税及び事業税	1,888	1,629
法人税等調整額	23	△12
<b>当期純利益</b>	<b>2,400</b>	<b>2,248</b>

## 株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本											評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本 合計			
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		配当積立金	その他利益剰余金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金					繰越利益 剰余金
平成19年3月31日残高	11,768	9,326	756	10,082	2,942	1,100	17	23,800	12,789	40,648	△206	62,293	△120	62,172
<b>事業年度中の変動額</b>														
剰余金の配当									△884	△884		△884		△884
当期純利益									2,400	2,400		2,400		2,400
自己株式の取得											△186	△186		△186
自己株式の処分				0	0						0	0		0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)													△263	△263
<b>事業年度中の変動額合計</b>	-	-	0	0	-	-	-	-	1,516	1,516	△186	1,329	△263	1,066
平成20年3月31日残高	11,768	9,326	756	10,083	2,942	1,100	17	23,800	14,305	42,164	△393	63,622	△384	63,238

## 会社の概要

(平成20年3月31日現在)

商号	株式会社テーオーシー (TOC CO.,Ltd.)
本社所在地	東京都品川区西五反田七丁目22番17号
資本金	117億6,819万1,630円
主な事業内容	●オフィス、ショッピングビル、流通関連ビル等の経営 ●催事場、駐車場等の経営 ●ベンチャー企業の育成並びに企業への投資 ●上記事業に関連するIT事業の企画・開発・運営
従業員数	79名(連結会社を含めた従業員数は184名)
持分法適用会社	大崎再開発ビル株式会社 設立年月日 昭和58年5月6日 資本金 2億円 事業内容 建物賃貸・ビル管理業務受託事業等

## 役員

(平成20年6月末現在)

代表取締役会長	大谷和彦
代表取締役社長	大谷卓男
常務取締役	羽廣元和
取締役	松崎良典
取締役	大橋正夫
取締役	岩井和夫
取締役	小平健
取締役	稲葉弘文
常勤監査役	長谷修嗣
監査役	寺澤正孝
監査役	川島一矩

## 連結子会社

(平成20年3月31日現在)

- 株式会社テーオーリネンサプライ  
設立年月日 昭和58年3月18日  
資本金 9,600万円  
事業内容 リネンサプライ及びランドリー事業
- 株式会社テーオーシーサプライ  
設立年月日 昭和45年4月8日  
資本金 5,000万円  
事業内容 ビル管理関連サービス事業
- 星製菓株式会社  
設立年月日 昭和57年3月3日  
資本金 7,500万円  
事業内容 製菓事業
- 株式会社アニメ・ジャパン  
設立年月日 平成10年6月19日  
資本金 1億円  
事業内容 環境保全及び省エネルギー事業
- 株式会社TOL  
設立年月日 平成12年11月1日  
資本金 1億円  
事業内容 スポーツクラブ及び温浴施設事業
- 株式会社I-TINK  
設立年月日 平成12年11月15日  
資本金 2億9,000万円  
事業内容 情報処理関連事業
- 株式会社TOC-index  
設立年月日 平成19年8月17日  
資本金 3億円  
事業内容 電子商取引事業  
※平成19年8月17日、株式会社TOC-indexを設立し、連結子会社といたしました。

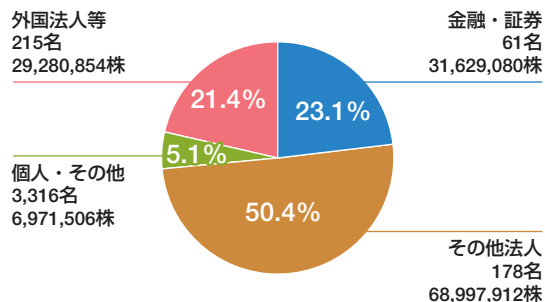
# 株式関連情報

(平成20年3月31日現在)

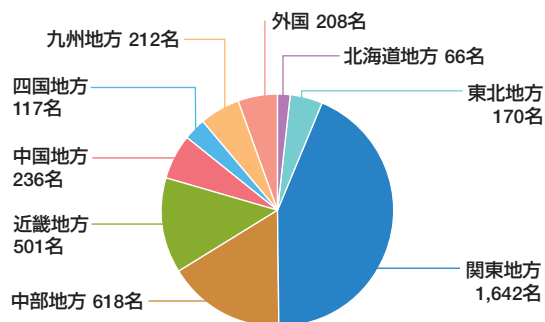
## 株式の状況

発行可能株式総数	547,517,000株
発行済株式総数	136,879,352株
株主数	3,770名
株主1人当たり平均持株数	36.308株

## 所有者別株式状況



## 地域別株主数



## 大株主

株主名	持株数 千株
株式会社ニューオータニ	21,251
有限会社大谷興産	13,165
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,610
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	7,635
有限会社オオタニファンド	6,426
有限会社大谷興産TO	5,734
日興シティグループ証券株式会社	4,943

# 株主優待のご案内



3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された  
1単元（500株）以上ご所有の株主の皆様にご贈呈させていただきます。

（優待内容 A、B、Cよりお選びいただけます。）

## >>株主優待 A

### ティファロシリーズ4点セット

■ スペイン産オリーブオイルを贅沢に使った肌にやさしいアロマバスオイル。お湯に入れると白く広がるオイルが全身を包み込みます。お風呂上がりのお肌はしっとりすべすべ。ローズ、ジャスミン、ラベンダーの香りをセットで。

〈内容量〉各100mL・5回分



■ クマザサエキスを配合したピュアモイストジェルと、上品なダマスクローズの香りの乳液のトライアルセット。滑らかでしっとりしたうるおいが持続し、心とボディをやさしくほぐします。

〈内容量〉

ティファロ ピュアモイストジェル 5g

ティファロ ボディ エマルジョン 5g

オリーブアロマバスオイル(ローズ) 25ml



## >>株主優待 B

### クマザサシリーズ3点セット

■ 新潟県産と北海道産の高品質の隈笹を天然自然水で独自の製法技法で抽出した多糖体エキスです。

〈内容量〉22g



■ ホシ隈笹エキスの成分をそのままに、顆粒・分画化したものです。携帯用におすすめいたします。

〈内容量〉1.7g×30包



■ クマザサエキスをはじめとした各種植物エキス（保湿成分）をバランスよく配合し、みずみずしい使用感のソフトなジェル。肌荒れ、かさつきが気になる方に。シンプルなお手入れで、ベールに包まれたようなうるおいが持続します。

〈内容量〉50g



## >>株主優待 C

### 「浅草ROXまつり湯」ご招待券4枚

■ 11種類のお風呂をはじめ充実のリラクゼーション施設でまる一日お楽しみいただけます。

〔交通案内〕

・つくばエクスプレス「浅草駅」より徒歩1分

・東京メトロ銀座線「田原町駅」より徒歩5分

・都営浅草線・東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩8分

・駐車場は当施設利用の方、2時間まで無料となります。

〔営業時間〕

月～土曜日 AM10:30～翌AM9:00  
(大浴場終了AM8:00)

日曜日 AM10:30～PM11:00  
(大浴場終了PM10:30)

年中無休





# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができないやむをえない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toc.co.jp/koukoku/index.html">http://www.toc.co.jp/koukoku/index.html</a>

## 各種手続用紙のご請求について

住所変更、名義書換、単元未満株式の買取り、買増しなど株式関係のお手続用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットで24時間承っております。

- 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)
- インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社等にご照会ください。

# 株券の電子化についてのお知らせ



2009年1月(平成21年1月)を目標時期に、株券の電子化の準備が進められています。(正式には政令により実施日が決まります。) **株券をお手元にお持ちの方は、必ず株券がご本人名義になっているかをご確認ください。**

## 電子化に伴う手続き

### 1. 株券を証券会社にお預けの場合

株主の権利は自動的に確保されます。特段のお手続きは必要ありません。

### 2. お手元にご本人名義の株券をお持ちの場合

配当金の受け取りなどの株主としての権利に影響はございません。

株券の電子化実施後は、そのままでは株式の売買を行うことができません。

証券会社のご本人の口座に移す必要があります。

### 3. お手元にご本人名義になっていない株券をお持ちの場合

株主としての権利を失うおそれがありますので、名義書換が必要です。下記の株主名簿管理人またはお取引のある証券会社にお問い合わせいただき、名義書換手続きを行っていただきますようお願いいたします。

※お取引の証券会社を通じて証券保管振替制度をご利用の場合は、手続き不要です。

当社株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(フリーダイヤル：0120-232-711)

株式会社 **テ-オ-シ-**

〒141-0031 東京都品川区西五反田七丁目22番17号

Tel. 03 (3494) 2111(代)

<http://www.toc.co.jp/toc/>